

本日の主な論点

1 調査書の取扱いについて

(1) 学年の取扱い（資料4－1参照）

いわゆる「中1ギャップ」に関する問題や周知期間の問題などの懸案となり得る事項に関することを含め、さらに議論を深めます。

(2) 学校の裁量権

学校毎の裁量を、どの程度認めるべきかという点には様々な意見があり、今後、さらに議論を深めます。

(3) 評価の実際

調査書に記載する評価は、いわゆる「相対評価」ではなく、目標に準拠した評価です。現状と課題について、議論を深めます。

2 生徒、保護者への情報提供について（資料4－2参照）

生徒、保護者への情報提供の在り方について、現状を踏まえ、具体的に議論を深めます。

3 その他